

2016 地域おこし協力隊が行く!

地域おこし協力隊は、今年度新たに大塚省吾隊員と柴田学隊員の2人が加わり、栗田雅史隊員と菅谷光太郎隊員と合わせて4人となりました。毎月金山での体験した活動、新しい魅力・発見を紹介します!



■今月の大塚隊員

今回は金山町でかつて使用されていた道具について書いてみたいと思います。

みなさん、「バツ」や「ヨヅ」って聞いたことありますか?

これらは昭和30年代後半くらいまで金山町で冬期に山から木材を搬出するために使われた道具の名前です。

短い方の道具が「バツ」で、踏み固めた斜面で木材を下ろす際に使われたものです。木材の片端をそりの間に渡してある木の上に載せ、操作する人が木の棒をてこのようにしてブレーキを効かせ



つつ下ろしていったそうです。

長いスキー板のように見えるものが「ヨヅ」で、平地の搬出の際に使われたものです。雪に接する面には鉄板が止められていて、結構重量があります。

大型機械で作業するのが当然になった今では見かけることもない道具ですが、下り坂で木材の重量に耐えながら雪の道を下ろしていった先人達の苦労を感じることができた道具との出会いです。

■今月の柴田隊員

神室雪まつりのステージイベントではたくさんの方に喜びの声をいただきました。ありがとうございます!

さて、例年に比べ雪が少ないと言われる今冬ですが、それでも夜になると冷え込みます。しかし空気は澄んでいて、夜空の星が綺麗に見える時期でもあります。



ります。

この度私は、プラネタリウム操作(スペースナビゲーター)の講習会を5日間に渡り受講し、その第一歩として修了書をいただきました。

新庄の泉田付近では、星が綺麗に見える土地全国2位になっています。そこからほど近い金山町も当然星を綺麗に見ることができ、大塚の駐車場、内町のお寺脇、楯山など灯りが少なくひらけている場所は町内に多く存在しています。

そんな金山で星空案内人をしていく方と、同じく受講した地域おこし協力隊の栗田隊員とともに金山星空観賞ツアーを開催できたかと考えています。

興味のある方がいましたら是非お声掛け下さい☆

